

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1705		
科目名	英語 V		
担当教員	加納 奈保子		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	オンライン	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	7 語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－D 〔市民的素養・市民的教養〕 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 D P 2－A 〔日本の精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢〕 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 D P 4－I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 6－K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C P）との関連 D 1 市民的素養と参加 （5 %） A 1 グローバル感覚 （5 %） A 2 異文化適応 （1 0 %） I 1 理解・分析と読解 （3 0 %） K 1 ライティング・コミュニケーション （3 0 %） K 2 オーラル・コミュニケーション （2 0 %）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2 進行情～3 発展期		
科目概要・キーワード	英語で書かれたある程度の長さの文章を読むための読解力を養う授業を行う。新聞・雑誌・インターネットなどを活用して、現代の社会情勢について英語で書かれた文章を読み、その内容について大まかに全体の意味を捉える練習を通して読解力の向上を図る。学生には身の回りのことだけでなく、広く世界の趨勢について知ってもらい、さらに関心を持った内容や疑問に感じた事項については、文献やインターネットで自ら調べ、知識の幅を広げていくことが求められる。授業形式は演習形式により行う。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 （キーワード） リーディング・ライティング・英語コミュニケーション		
授業の趣旨	■副題 リーディングを通じた読解力・英語表現習得 ■授業の目的 様々な文体で書かれた文章を読み、その大意や細かい情報を読み取る Skimming & Scanning力を身につけることを目的とします。また、読解を通して、世界の動きを知り、異文化や多様な考え方を比較・対照することにより、批判的思考力も身につけます。さらに、読み取った内容に対して、自分なりの考えや意見を文章で伝える活動を通して、		

	知識としての英文法を“書いて伝える”力に変えていくことを目的とします。 ■授業のポイント 文章読解を通じて、必要な情報を効率的に読み取る力を伸ばすとともに、英語表現を身につけます。 なお、授業概要の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。
総合到達目標	・身近な題材を扱った短い文章を多く読むことにより、英文を抵抗感なく読めるよう、英文読解の習慣を身につける ・時事ニュース、電子メール、スピーチなど様々な文章を読み、大意や要点をつかむことができる (Skimming) ・ある程度の長さの文章から必要な情報を読み取ることができる (Scanning) ・読み取った内容に対して、自分なりの意見・考えを英文で伝えることができる ・発音などに注意しながら音読による読解練習も行う
成績評価方法	(適用ルーブリック) A1: 10%、A2: 10%、I1: 30%、K1: 30%、K2: 30% (成績評価手段) ■授業パフォーマンス評価点 (Class performance) (30%) (評価の観点) 授業への参加状況を評価します。 (フィードバック方法) 授業内で適宜フィードバックを行います。 ■授業理解評価点 (Quiz) (30%) (評価の観点) 授業で学んだ単元の理解度を図ります。 (フィードバック方法) 授業内もしくはポータルを通して適宜フィードバックを行います。 ■宿題 (Homework) (20%) (評価の観点) 授業で課す課題に真摯に取り組んでいるかを評価します。 (フィードバック方法) 授業内もしくはポータルを通して適宜解説を行います。 ■TOEIC L&R模擬テスト (TOEIC L&R Mock Test) (20%) (評価の観点) TOEIC L&R模擬テストのスコアを評価します。 (フィードバック方法) 終了後、獲得スコアをお伝えします。(フィードバック方法) 終了後、獲得スコアをお伝えします。
履修条件	・過去に「英語V」を受講したが、単位取得できなかった3年次以上の学生は履修登録可能。 ・基礎疾患等のため対面授業で行う「英語V」の代わりとして大学から履修許可を得ている2年次の学生は履修登録可能。
履修上の注意点	1. レッスンピックやマテリアルはクラスのレベルと授業の進度により変更になる場合があります。詳細は授業内でお知らせします。 2. 必ず新しいテキストを購入すること。また、テキストは毎回の授業に必ず持参すること。 3. 講師の指示がない限り、授業内での携帯電話の利用を禁止します。 4. 課題、宿題、TOEIC L&R模擬テストは必ず期限内に実施すること。 5. 授業を欠席あるいは遅刻をした場合、宿題・課題等の確認は自分自身で責任を持って行うこと。欠席、遅刻は宿題・課題を完了できなかった理由にはなりません。 6. 公欠届はできる限り事前に提出のこと。毎月授業実施する曜日・時限に病院に通う必要がある学生は、初めて授業に出席した際に必ず申し出ること。 7. 上記5や6について、学期末にまとめて申告することを禁止します。 8. ポータルへの課題のアップなどPC操作が不明な場合には、管理マネジメント課もしくは地下の情報センターに問い合わせること。
授業内容	
関連科目	
教科書	Osamu Takeuchi、_A Good Read 1_、Shohakusha、2017、ISBN 978-4-88198-719-3
参考書・参考URL	授業内で適宜指示いたします。英英辞典もしくは英和辞典を必ず持参すること。(電子辞書可)
連絡先・オフィスアワー	質問には、授業前後の時間に対応します。連絡先は授業でお知らせします。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.